

令和8年度 病虫害防除技術情報 第9号

令和 8 年 8 月 27 日
大分県農林水産研究指導センター
農 業 研 究 部

ピーマンにおけるタバコガ類の防除について

令和8年8月中旬に実施した巡回調査ではタバコガによる被害果は確認されていないものの、県内2か所(豊後大野市、臼杵市)に設置したタバコガ類(タバコガ、オオタバコガ)のフェロモントラップについて、8月以降、共に平年より多い傾向で推移しています(図1、2、3、4)。

福岡管区気象台の発表によると、九州北部地方の1ヶ月予報(8月20日福岡管区気象台発表)では、平均気温は平年並20%、高い確率70%、降水量は少ない確率が40%、平年並40%と予想されています。今後、タバコガ類の活動に好適な高温乾燥条件が続くと考えられるため、発生状況に注意し、早期発見に努めて速やかに防除を実施してください。

1. 発生の状況

フェロモントラップによる誘殺数

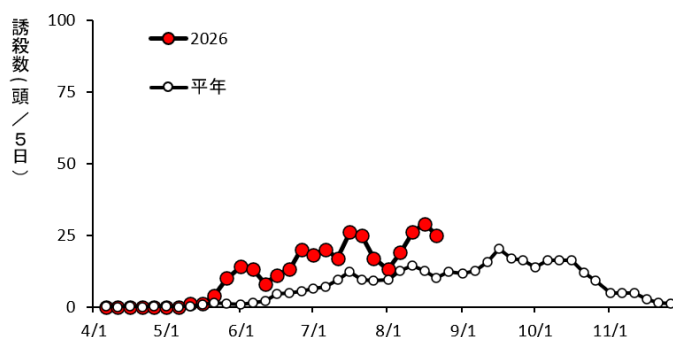


図1 タバコガ 誘殺数 (豊後大野市)

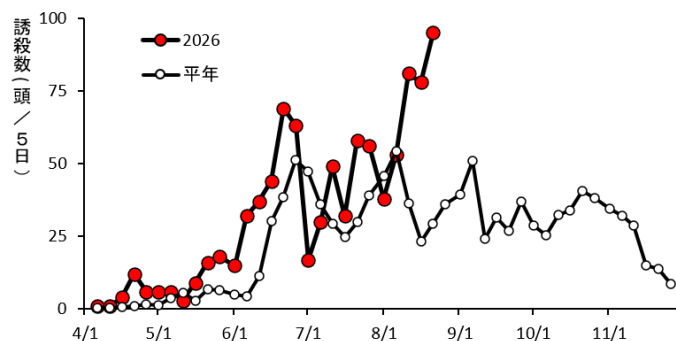


図2 オオタバコガ 誘殺数 (豊後大野市)

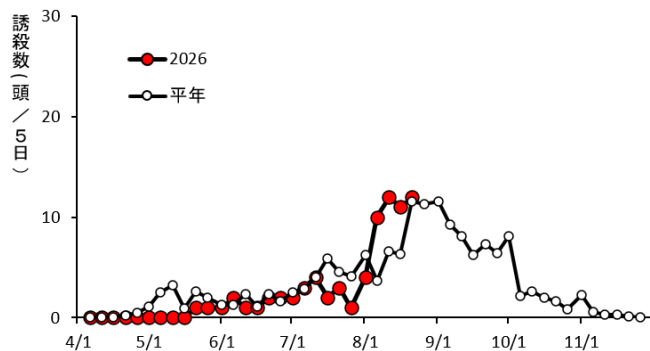


図3 タバコガ 誘殺数 (臼杵市)

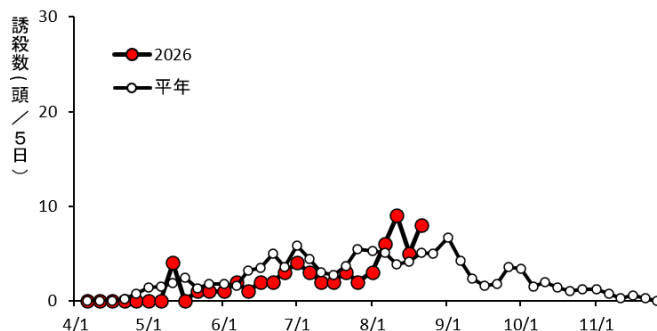


図4 オオタバコガ 誘殺数 (臼杵市)

2. タバコガ類の予測

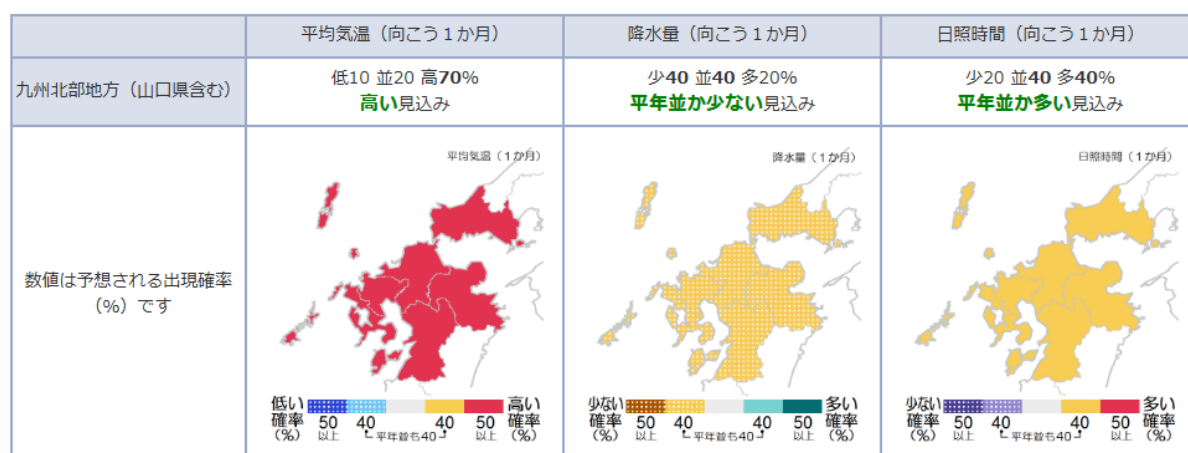
フェロモントラップによる8月1半旬～4半旬の総誘殺数は、豊後大野市でタバコガ99頭(平成49.7頭)、オオタバコガ307頭(平成147頭)、臼杵市ではタバコガ48頭(平成28.1頭)、オオタバコガ28頭(平成18.2頭)と平年に比べ発生が多い状況にあり、今後もこの状況が続くと予想されます。

3. 今後の気象状況

8月20日に福岡管区気象台が発表した「九州北部地方1か月予報」(8月22日から9月21日まで)は以下のとおりとなっております。気温は、平年並か高いとの予報であり、本虫は高温乾燥条件下で発生が助長されるため、注意が必要です。

福岡管区気象台のホームページ

(<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010900&term=P1M>)より抜粋。



4. 防除上の注意事項

- (1) 圃場内の観察を徹底し、タバコガ類の早期発見に努める。中齢以降の幼虫は果実内に食入し、薬剤がかかりにくくなるため、若齢幼虫のうちに薬剤防除を徹底する。
- (2) タバコガ類はピーマン軟腐病を媒介するため、選果を徹底する。また、被害部位(果実、茎葉等)などの残渣には卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分する。
- (3) タバコガ類の薬剤抵抗性発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続使用は避け、ローテーション防除を心掛ける。防除に使用する薬剤は、大分県農林水産研究指導センター病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作

物病虫害及び雑草防除指導指針」

(<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujosho/boujoshishin.html>)の「ピーマン」の項を参照する。なお、薬剤によっては指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、容器のラベルに記載されている使用時期、使用回数等を遵守し使用する。

ホームページアドレス

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujosho/>

